

奈良市音声館 現状と課題

課題①

施設における事業効果と運営コストのバランス

課題②

社会環境の変化(少子化等)により、従来通りの事業に対するニーズが減少している

課題③

将来的な施設や設備の維持コスト増加

課題①

施設における事業効果と運営コストのバランス

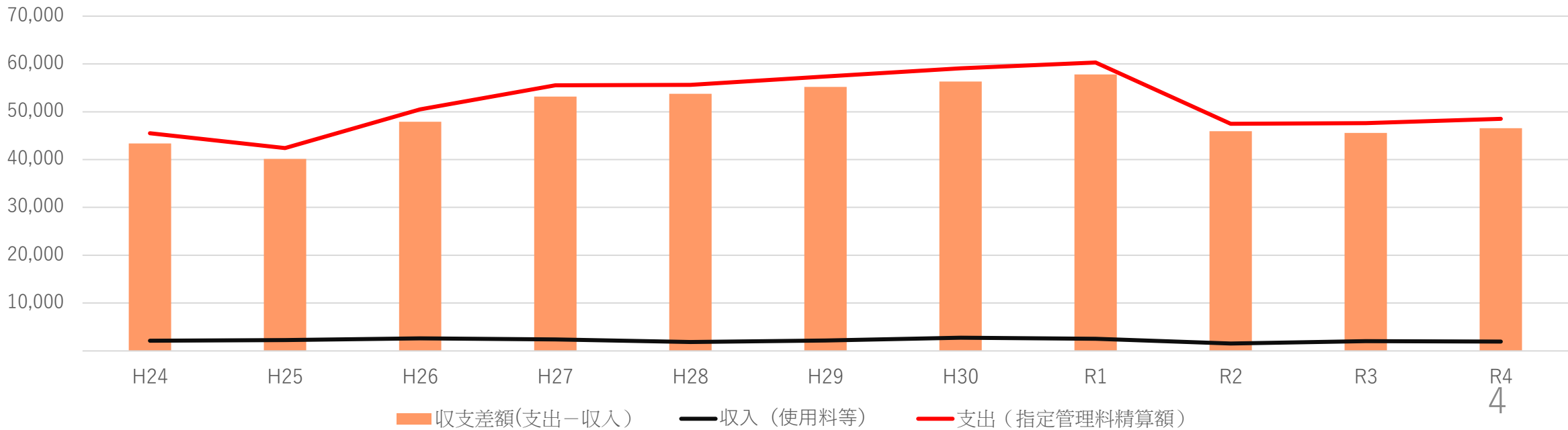
課題① 施設における事業効果と運営コストのバランス

市の歳入・歳出について

単位：千円

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
歳入（使用料等）	2,126	2,269	2,610	2,384	1,870	2,166	2,761	2,511	1,561	2,044	1,937
歳出（指定管理料精算額）	45,500	42,410	50,516	55,548	55,631	57,367	59,067	60,300	47,495	47,600	48,503
実質負担額（支出－収入）	43,374	40,141	47,906	53,163	53,761	55,202	56,306	57,789	45,934	45,556	46,566

音声館 指定管理料と施設等使用料（単位：千円）



課題① 施設における事業効果と運営コストのバランス

施設運営経費について(5ヶ年)

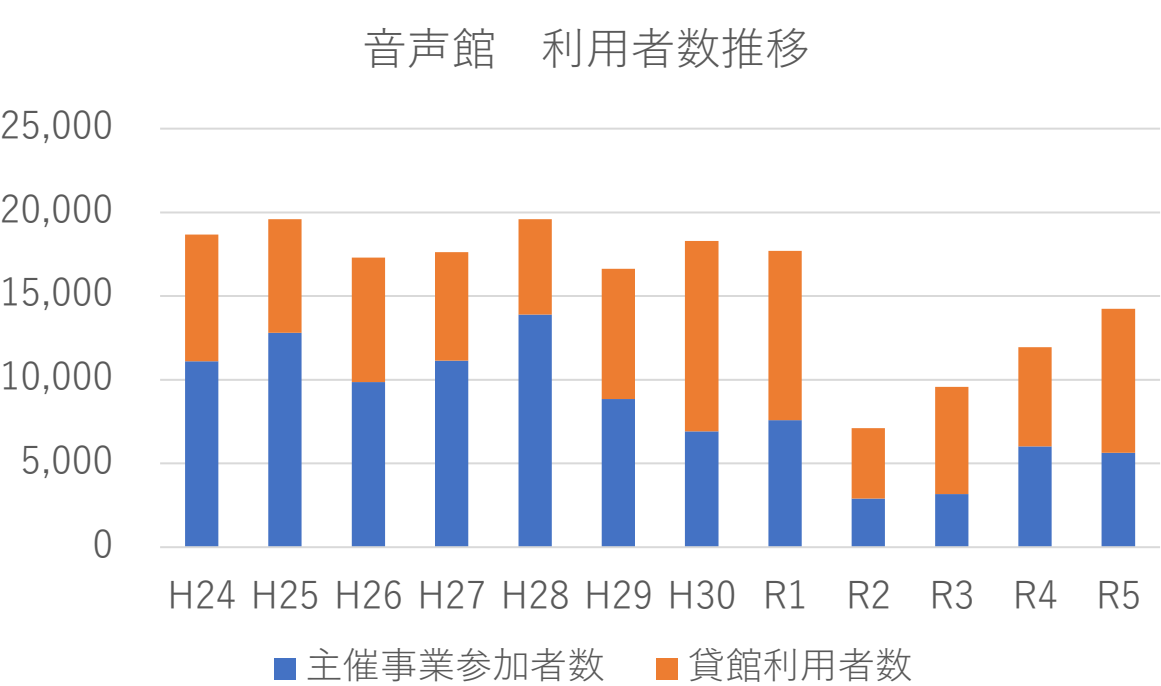
単位：円

項 目		令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
収入	指定管理料	60,300,000	47,494,838	47,600,000	48,502,898	47,769,000
	事業収入	0	0	0	6,500	18,000
	その他	43,458	8,388	1,928	3,670	20,000
	合計（A）	60,343,458	47,503,226	47,601,928	48,513,068	47,807,000
支出	人件費	45,819,534	45,864,792	46,057,518	43,329,323	33,200,000
	光熱水費	3,169,235	2,524,941	2,919,052	4,790,098	3,828,000
	委託費	4,755,762	4,865,380	5,052,820	5,086,920	5,127,000
	事業費 消耗品費・通信運搬費・ 印刷製本費	693,447	729,924	544,366	899,445	945,000
	修繕費	0	0	0	0	20,000
	事務費その他 燃料費・賃借料・保険料・租税公課費・ 負担金・手数料・雑支出	5,165,641	4,558,524	4,708,757	4,465,899	4,687,000
	合計（B）	59,603,619	58,543,561	59,282,513	58,571,685	47,807,000
収支差額（A）－（B）		739,839	−11,040,335	−11,680,585	−10,058,617	0

課題① 施設の運営コストに対して、受益者が限定的 貸館利用者・主催事業参加者数について

●来館者数は、館主催事業参加者と貸館利用者

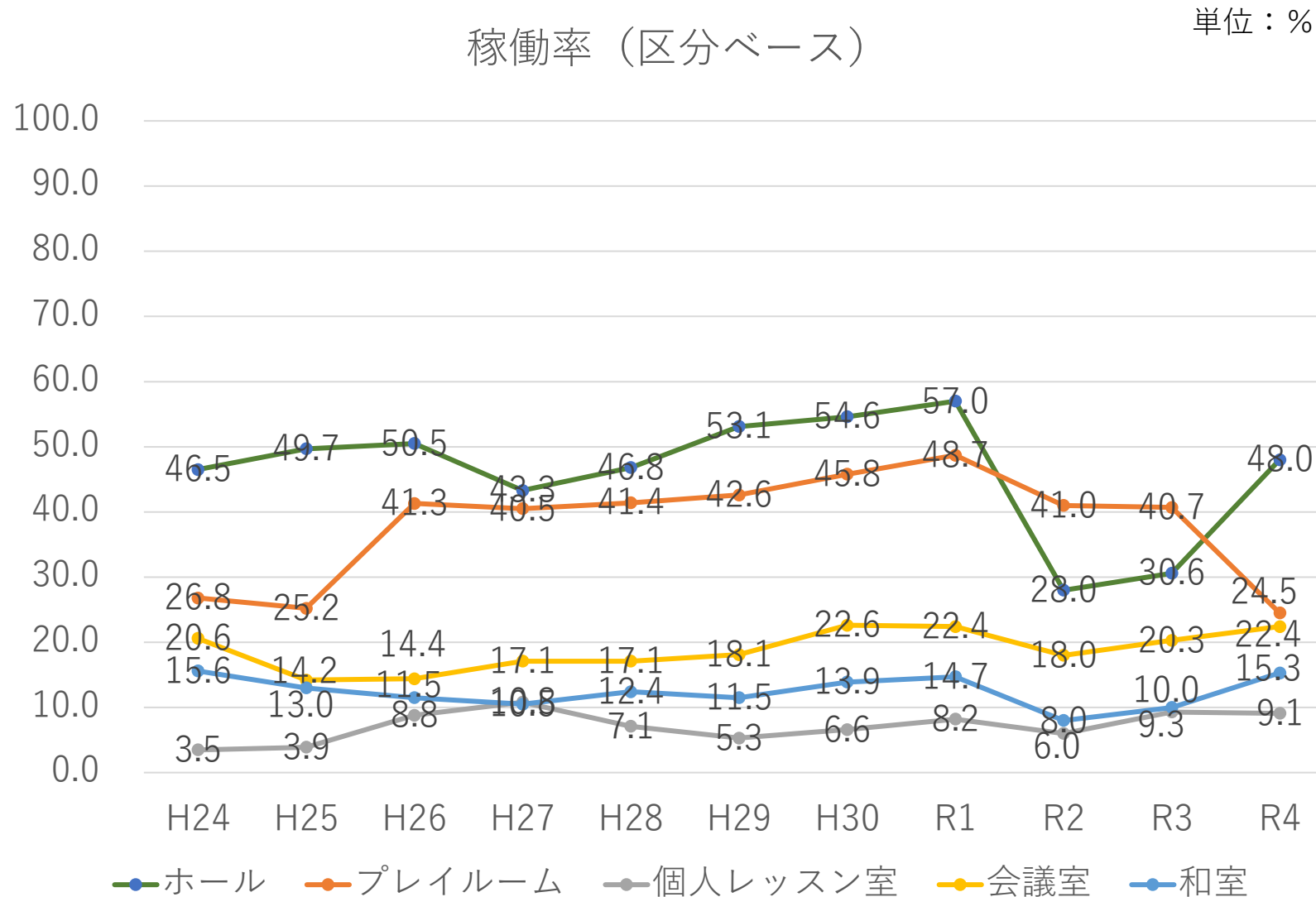
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
主催事業参加者数	11,111	12,803	9,865	11,148	13,905	8,849	6,922	7,587	2,907	3,168	6,016	5,638
貸館利用者数	7,571	6,789	7,438	6,486	5,687	7,784	11,382	10,117	4,205	6,409	5,923	8,610
計	18,682	19,592	17,303	17,634	19,592	16,633	18,304	17,704	7,112	9,577	11,939	14,248



単位：人

課題① 施設における事業効果と運営コストのバランス

施設別利用状況について



貸館の使用目的・分野について（令和4年4月～9月の利用状況）

催し	日数
ダンスの練習、発表会（貸館）	52
楽器の練習、発表会（貸館）	49
伝統文化教室（主催）	43
わらべうた教室（主催）	39
ミュージカル練習、本番（主催）	28
合唱、歌の練習（貸館）	28
ホールの控室（主催、貸館）	17
三味線の練習（貸館）	17
華道（貸館）	17
会議、自治会（貸館）	15
演劇練習、本番（貸館）	14
ピアノ試弾会（主催）	13
古文書（貸館）	11
気功（貸館）	11
茶道（貸館）	6
パッチワーク（貸館）	5
朗読（貸館）	2
楽器作り（主催）	1
舞（貸館）	1
相撲甚句（貸館）	1
合計	370

課題① 施設における事業効果と運営コストのバランス

主な貸館利用団体(令和4年上半期参考)

ホール

使用目的等	団体数	使用頻度
合唱団	2 団体	2週に1回程度
楽器発表会	約20団体	年1回程度
演劇・朗読・ダンス	約 5 団体	年1回程度

プレイルーム

使用目的等	団体数	使用頻度
ダンス	3 団体	2週に1回程度
楽器練習	約5団体	月に1回程度

会議室

使用目的等	団体数	使用頻度
華道	1 団体	週に1回程度
古文書教室	1 団体	3週に1回程度
パッチワーク	1 団体	月に 1 回程度

和室

使用目的等	団体数	使用頻度
三味線・茶道	2 人	2週に1回程度
気功教室	1 団体	3週に1回程度

個人レッスン室

使用目的等	団体数	使用頻度
歌練習	数人	3週に1回程度
ピアノ練習	数人	月に1回程度

課題① 施設における事業効果と運営コストのバランス

運営コスト分析について

音声館、100年会館、ならまちセンター、西部会館市民ホール、北部会館市民文化ホール比較

単位：円

	指定管理料 (R4)	リース料等 (R4)	支出計 (R4)	歳入 (R4)	実質コスト (R4)	歳入／支出計 (R4)
音声館	48,502,898	0	48,502,898	1,935,350	46,567,548	4.0%
100年会館	381,527,084	78,160,584	459,687,668	48,021,930	411,665,738	10.4%
ならまち	109,183,088	24,300,060	133,483,148	14,501,550	118,981,598	10.9%
西部	40,855,952	21,375,768	62,231,720	11,506,830	50,724,890	18.5%
北部	32,936,701	159,313	33,096,014	7,549,910	25,546,104	22.8%

	年間運営コスト (R4)	市民1人あたりの コスト負担額 (年)	定員1人あたりの コスト負担額 (年)	参加者※1人あたりの コスト負担額 (年)
音声館	46,567,548	133	211,671	3,900
100年会館	411,665,738	1,176	202,791	2,658
ならまち	118,981,598	340	267,977	2,652
西部	50,724,890	145	166,311	1,920
北部	25,546,104	73	65,503	459

※参加者＝貸館事業参加者、主催事業参加者 10

課題②

社会環境の変化(少子化等)により、従来通りの事業に対するニーズが減少している

課題② 既存事業に対するニーズの減少

奈良市の人口について

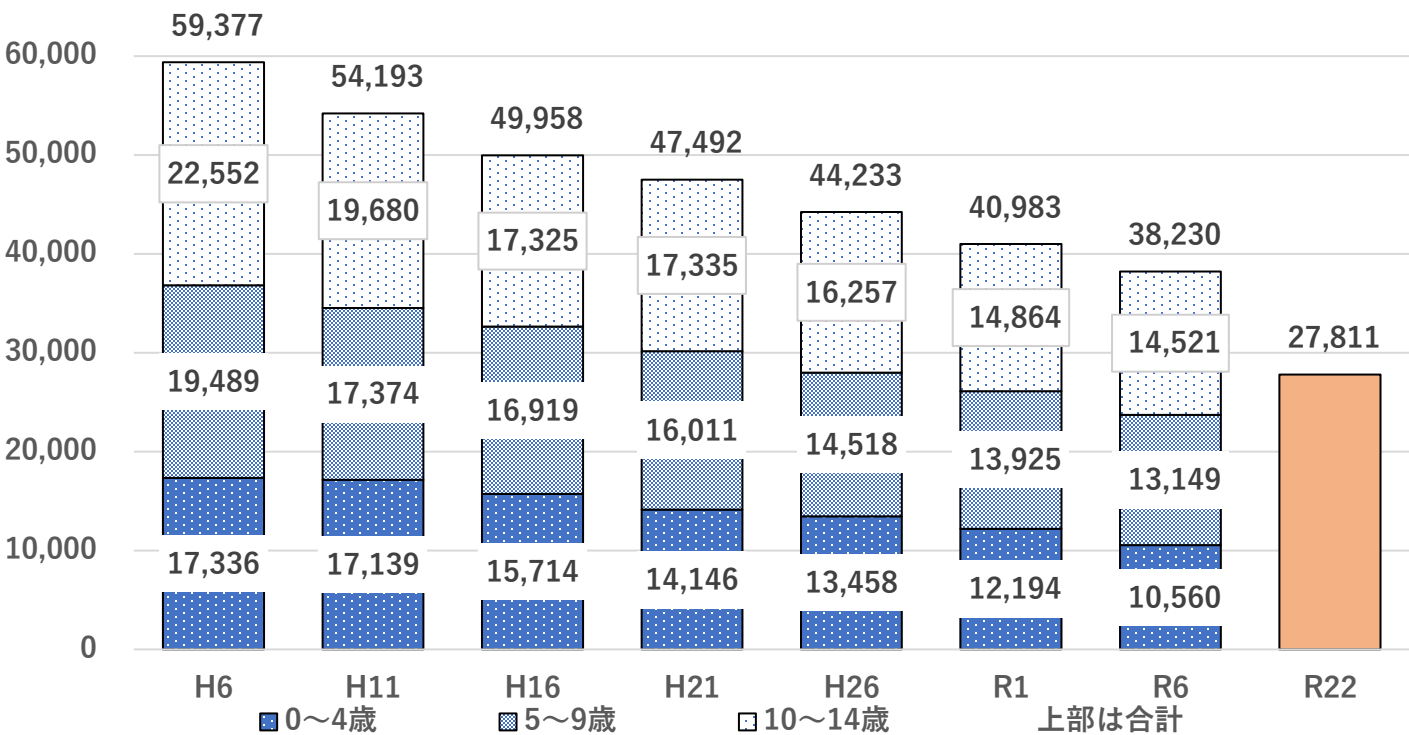
年齢（5歳階級）別人口（R6.4）

総数	348,285	単位：人
0～4歳	10,560	38,230
5～9歳	13,149	
10～14歳	14,521	
15～19歳	15,175	197,811
20～24歳	16,228	
25～29歳	14,546	
30～34歳	15,156	
35～39歳	18,029	
40～44歳	19,948	
45～49歳	24,019	
50～54歳	27,932	
55～59歳	24,874	
60～64歳	21,904	
65～69歳	21,495	47,167
70～74歳	25,672	
75～79歳	24,665	44,450
80～84歳	19,785	
85歳以上	20,627	20,627

奈良市 14歳以下の人口推移(平成6年度～令和6年度) 単位：人

※各年10月時点、令和6年度のみ4月

R22は『日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）』より



課題② 既存事業に対するニーズの減少 主催事業について

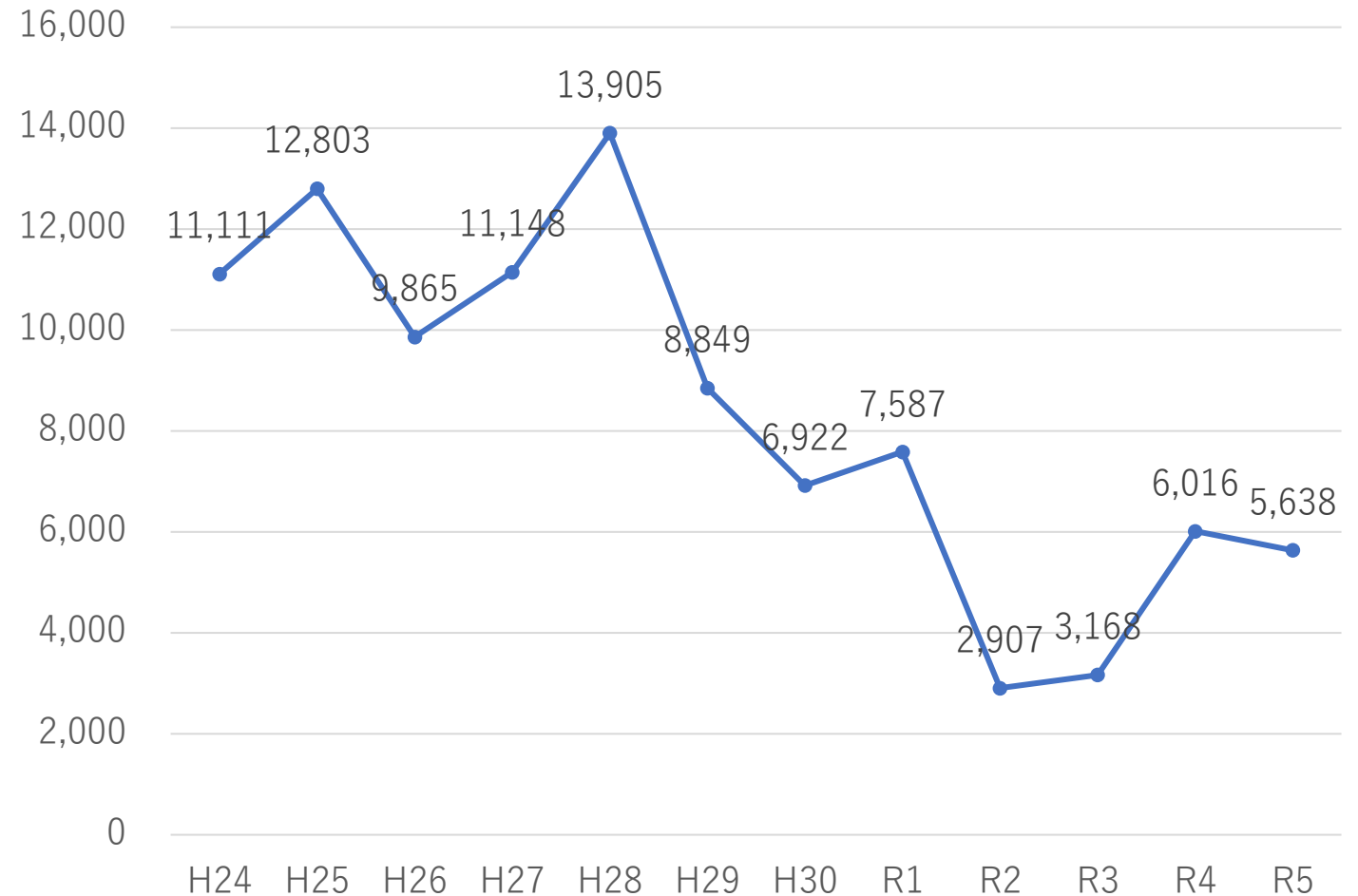
令和5年度実施事業

企画事業	子ども制作教室
自主事業	奈良の民話事業 日本の伝統文化を学ぼう わらべうた教室 気軽に音声館へ

特に子どもを対象とした「わらべうた教室」や「伝統文化教室」などは、事業参加者の減少傾向が強い

➡子ども以外の世代への取組みも必要

音声館主催事業参加者数（単位：人）



課題② 既存事業に対するニーズの減少 主催事業について

主な主催事業参加者数推移(館外活動等を含む) 単位：人

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
ならまちわらべうた教室	8311	8564	6053	4715	3443	935	707	1475
出張わらべうた教室	2240	1447	2353	2440	2041		298	668
奈良の民話普及事業	3350	2935	2853	3097	2487	1016	1895	1356
子ども邦楽教室 (旧音楽を楽しもう！)	1257	2361	2657	725	601	398	410	347
特別コンサート				267	790	141	296	94
大人邦楽教室								103
エントランスコンサート	2400	2692	2140	1890	1940			
日本の伝統文化を学ぼう	433	501	498	565	330	266	322	425
エントランスギャラリー	282	211	209	161	29			13

課題② 既存事業に対するニーズの減少 意識調査・アンケートから

市民のニーズ（令和3年度奈良市民意識調査）

市民が休日を過ごす場所は「奈良市内」が86.9%

→休日を自分の街でゆっくり過ごしたいというニーズ

重要する項目を9つにわけると1位が「安心・安全」、2位が「子育て・教育」

→安全に過ごすことができ、子育てしやすい街であってほしいというニーズ

文化的なニーズ（令和5年3月文化庁 文化に関する世論調査）

この1年間に文化芸術イベントで「直接鑑賞をしたものがない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「コロナで外出を控えた」29%、「関心がない」22.6%、「近所で公演や展覧会が行われていない」が12.8%

→文化芸術イベントに参加しやすい環境を望むニーズ

課題③

将来的な施設や設備の維持コスト増加

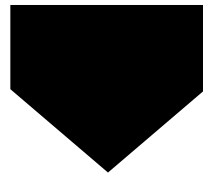
課題② 将来的な施設や設備の維持コスト増加

今後の維持コストについて

- 平成6年の開館から30年近くが経っており、舞台以外の各設備の老朽化も著しく、安全・安心にご利用いただくためには、維持コストが増加していくことが懸念される。
 - ホールに舞台設備があるため、照明や音響等の改修が必要である。照明についてはLED化の検討も行うべきであるが、舞台設備に掛かるコストは高額となる。
- ➡ 今後、施設や設備の維持コストについて概算を算出

検討の方向性

コスト面での課題をクリアしつつ、
これまで施設が果たしてきた文化的な役割を
可能な限り維持していくための方策を検討



音声館運営における新たな実施計画（案）作成



令和7年度からの指定管理者選定における仕様書への反映

參考資料

課題③ 公共施設の役割整理

ならまちにおける市の公共施設一覧

施設名	機能	利用者数（R4）
ならまちセンター（市）	ホール、多目的室、会議室、カフェ、図書館、連絡所	143,337人
奈良市音声館（市）	ホール、多目的室、会議室、和室	11,939人
奈良市杉岡華邨書道美術館（市）	美術館	4,134人
名勝 大乘院庭園文化館（市）	庭園、会議室、和室	4,323人
入江泰吉記念奈良市写真美術館（市）		14,405人
なら工芸館（市）	工芸展示、工芸販売	33,843人
奈良市史料保存館（市）	歴史資料の保存・展示	21,730人
京終駅観光案内所「ハテノミドリ」（市）	観光案内、カフェ	5,093人
奈良町南観光案内所「鹿の舟」（市）	観光案内、飲食店	16,918人
奈良町にぎわいの家（市）	見学、体験、アート展	58,568人
奈良町からくりおもちゃ館（市）	体験	25,608人
ならまち格子の家（市）	町家見学	57,768人

ならまち散策マップ

ならまちとは…

奈良時代の元興寺や興福寺の旧境内地に、中世以降多くの人が住み始め、社寺とともに発展したのが「ならまち」です。古代～中世の寺院の痕跡が、町名や屈折した街路として残り、生活の中に古い歴史や伝統が息づいています。古社寺とともに、江戸時代から昭和初期の町家が手を加えられながらもよく残り、風情を感じさせます。

WC おもてなしトイレとして協力いただいている民間施設のトイレです。ご利用の際はひとことお声がけください。(詳細は裏面をご覧ください)

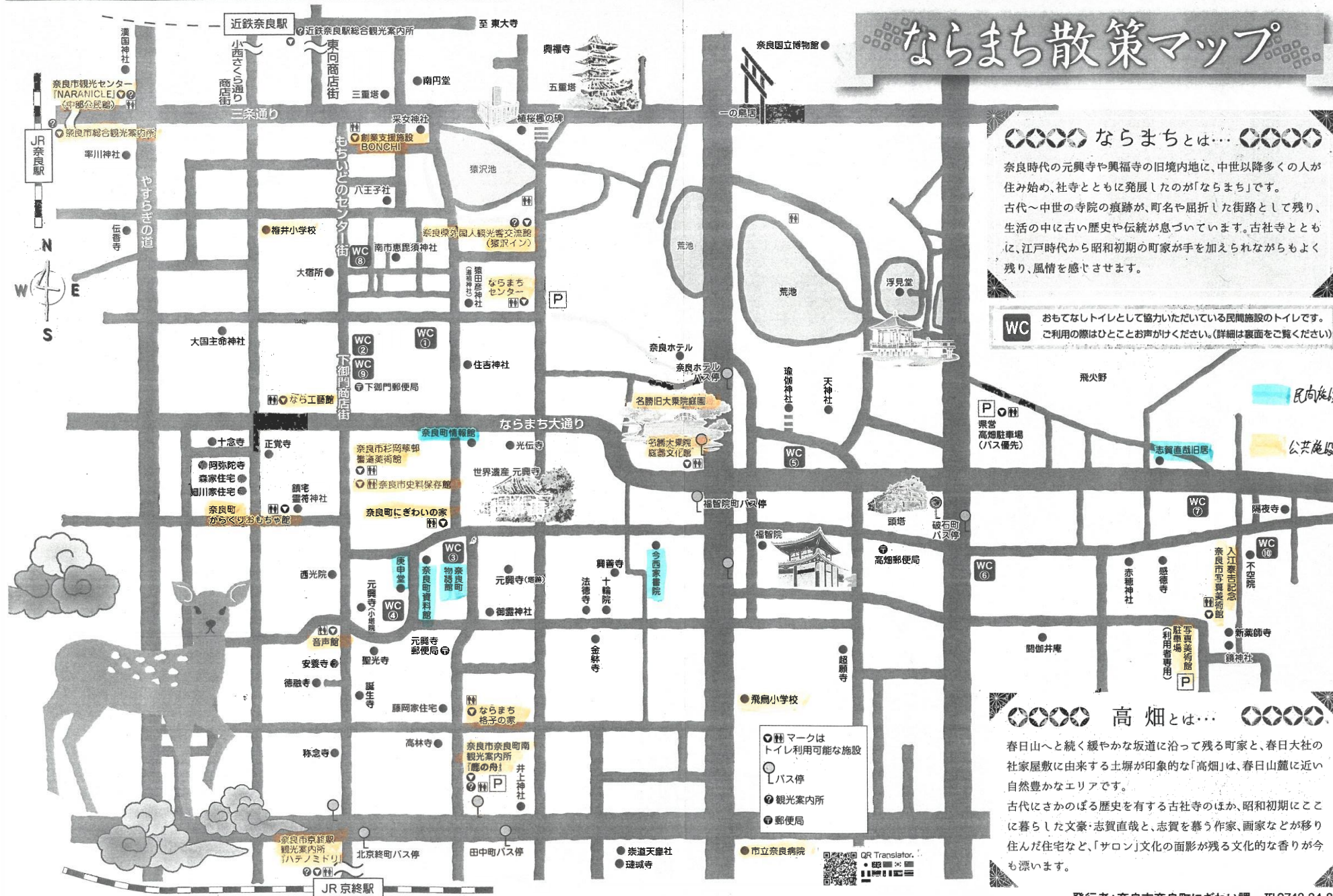
P 民向施設
公共施設
飛火野
志賀直哉旧居
高畑駐車場(バス優先)

高畑とは…

春日山へと続く緩やかな坂道に沿って残る町家と、春日大社の社家屋敷に由来する土塀が印象的な「高畑」は、春日山麓に近い自然豊かなエリアです。

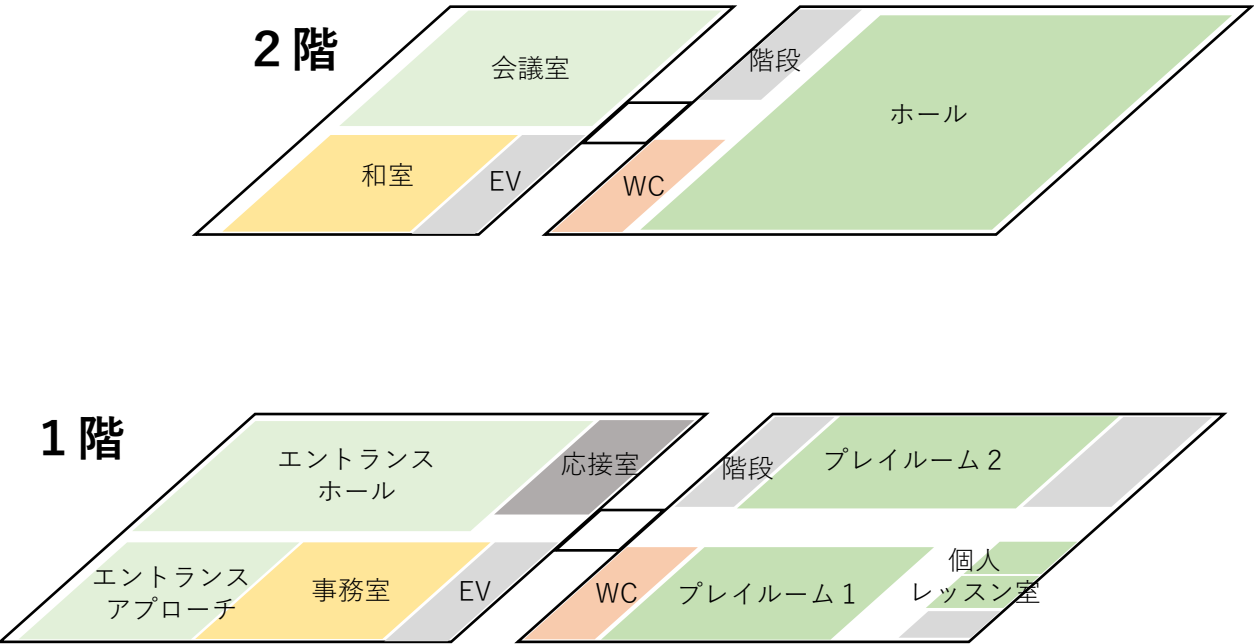
古代にさかのぼる歴史を有する古社寺のほか、昭和初期にここに暮らした文豪・志賀直哉と、志賀を慕う作家、画家などが移り住んだ住宅など、「サロン」文化の面影が残る文化的な香りが今も漂います。

- 緑マークはトイレ利用可能な施設
- バス停
- ① 観光案内所
- ② 郵便局



施設概要

開館日	平成6年10月4日
所有	奈良市
敷地面積	1,326.42㎡
延床面積	1,194.86㎡
構造	鉄骨造、瓦葺 地上2階建
指定管理者	一般財団法人 奈良市総合財団



奈良市音声館条例

（目的及び設置）

第1条 伝統的な芸能の継承並びに音楽及び演芸の振興を図り、市民の文化の向上に資するため、音声館（以下「館」という。）を設置する。

（事業）

第3条 館においては、次の各号に掲げる事業を行う。

- （1） 伝統的な芸能の継承及び振興に関すること。
- （2） わらべ歌等の調査、研究及び普及に関すること。
- （3） 音楽会及び演芸会の開催並びに市民のふれあいの場の提供に関すること。
- （4） その他館の設置目的を達成するために必要な事業

第2次奈良市文化振興計画（第4章 推進施策）

（４）文化施設の現状と今後の方向性

文化施設は、市民の文化活動の発表の場であるとともに、市民文化・都市文化を振興するうえでの地域拠点であり、本計画の推進にあたって大きな役割を持ちます。

一方で市の文化施設利用者数は減少傾向にあり、市民への持続的かつ安定的な行政サービス提供のためには、各施設の目的や使命・役割を今一度見直す必要があります。本計画において、各施設の主となる目的の「市民文化の振興」と「都市文化の振興」におけるあり方と、それぞれのミッション（使命）を明確にし、各施設の運営管理者とともにより良い施設運営に努めます。

また、各施設においては一部に老朽化による、計画的な整備・改修を進める必要があります。この問題は、奈良市文化振興条例や本計画に基づき、また社会的な課題や市民ニーズ等を踏まえながら、施設機能の整理及び集約化を図っていきます。

市民文化振興のための施設

<ホール>

なら100年会館
奈良市ならまちセンター
西部会館市民ホール
北部会館市民文化ホール

奈良市音声館

<美術館>

奈良市美術館

都市文化振興のための施設

<ホール>

なら100年会館
奈良市ならまちセンター

奈良市音声館

<美術館>

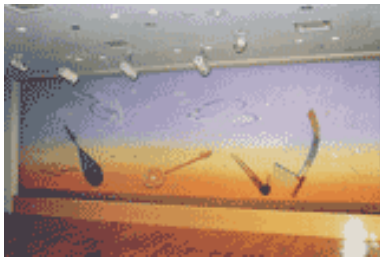
入江泰吉記念奈良市写真美術館
杉岡華邨書道美術館

<その他>

入江泰吉旧居
名勝大乘院庭園文化館

貸館について

ホール（定員90人）



プレイルーム 1（定員：20人）

プレイルーム 2（定員：30人）



個人レッスン室（定員：2人程度 3室）

会議室（定員：各15人 2室）

和室（広さ：各10畳 2室）



音声館料金表

単位：円

区分			午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日
			9：00～ 12：00	13:00～ 16:00	17:00～ 21:00	9:00～ 16:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00
ホール	入場料等を徴収しない場合	平日	2,000	4,000	6,000	6,000	10,000	11,000
		土・日・祝日	2,400	4,800	7,200	7,200	12,000	13,200
	入場料等を徴収する場合	平日	4,000	8,000	12,000	12,000	20,000	22,000
		土・日・祝日	4,800	9,600	14,400	14,400	24,000	26,400
プレイルーム	1		1,600	1,600	1,600	3,200	3,200	4,000
	2		2,300	2,300	2,300	4,600	4,600	5,700
個人レッスン室（1室につき）			1,000	1,000	1,000	2,000	2,000	2,500
会議室			1,000	1,000	1,000	2,000	2,000	2,500
和室			1,000	1,000	1,000	2,000	2,000	2,500